

青峯道（磯部道・松尾道）

青峯道の概要

志摩市磯部町と鳥羽市との境にある青峯山は、標高336メートルの志摩半島一の高峰で、外洋を航行する船のよい目標となった。山頂には真言宗大覚寺派の正福寺があり、本尊の十一面観音はその昔、鯨の背に乗って現れたといわれ、航海安全の観音様として昔から船人の信仰が厚い。寺への奉納物や町石・道標の願主には、大坂・三河・熱田・静岡を中心とした全国の船乗りや廻船問屋、木綿問屋などの名が見られる。また、漁師や海女を中心とする地元の人々の崇敬も集め、「あおみねさん」と親しまれている。

参詣道は矢道・磯部道・五知道・松尾道などが開かれたが、現在も登りやすく、手頃なハイキングを楽しめるのは、磯部道と松尾道である。

磯部道は、志摩市磯部町上之郷の伊雑宮を起点とし、山田や杵掛を経て青峯山の南西の丘陵を山頂へと登る。丘陵の端にある登り口には、昭和46年に建

てられた「青峯山旧登口 山上まで十七丁（二軒）」の石標がある。一丁（町）は約109メートル。十七丁で2キロメートル弱の距離である。

参道の途中にも石標と同時に立てられた町石が一丁ごとにある。7丁を越える頃から海側の視界が開け、安乗（あおり）方面の海が見え始める。十丁で、旧矢道である舗装された車道にいったん出るが、すぐに再び山中に入り、十三丁を越えたところでもた車道に出る。ここからはゆるやかな道がしばらくつづき、正福寺山門に至る。

一方の松尾道は、近鉄志摩線の松尾駅近くから松尾の集落を抜けて青峯山北麓の尾根沿いを登る道。こちらも一丁ごとに町石が立ち、二十六丁で正福寺大門に着くが、一部、町石がなかったり、町石と町石の間の距離が不均衡だったりする。参道は道幅が2〜3メートルと広く歩きやすい。昭和37年に山の東麓に自動車の走れる新道ができるまでは、参道のメインルートだった。旧暦1月18日に正福寺で開かれる御船祭では、露天商たちがすべての荷をショイコで担いで荷上げをし、県内はもとより東海各県の船乗りや漁民が列をなして参ったという。





- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - 地蔵など
 - 句碑
 - その他文化資産等
 - まちがど博物館
 - 博物館・資料館
 - まちがえやすい分かれ道
 - バス停
 - トイレ



6 石柱
昭和46年(1971)のもの。「青峰山旧道登口 山上まで十七丁(二軒)」とあり、下之郷の石材店が刻んだという。



5 標柱
「神崇山安国寺 沓掛区」と刻まれている。



4 庚申塚
享保14年(1729)のもの。安国寺手前の左側の椎の木の根本にある。

(1)上之郷 (志摩市磯部町上之郷～沓掛)

車で行けるのは人家のあるこの辺りまで。このあとは徒歩となる。



3 青峯山の眺め



2 山田を行く道

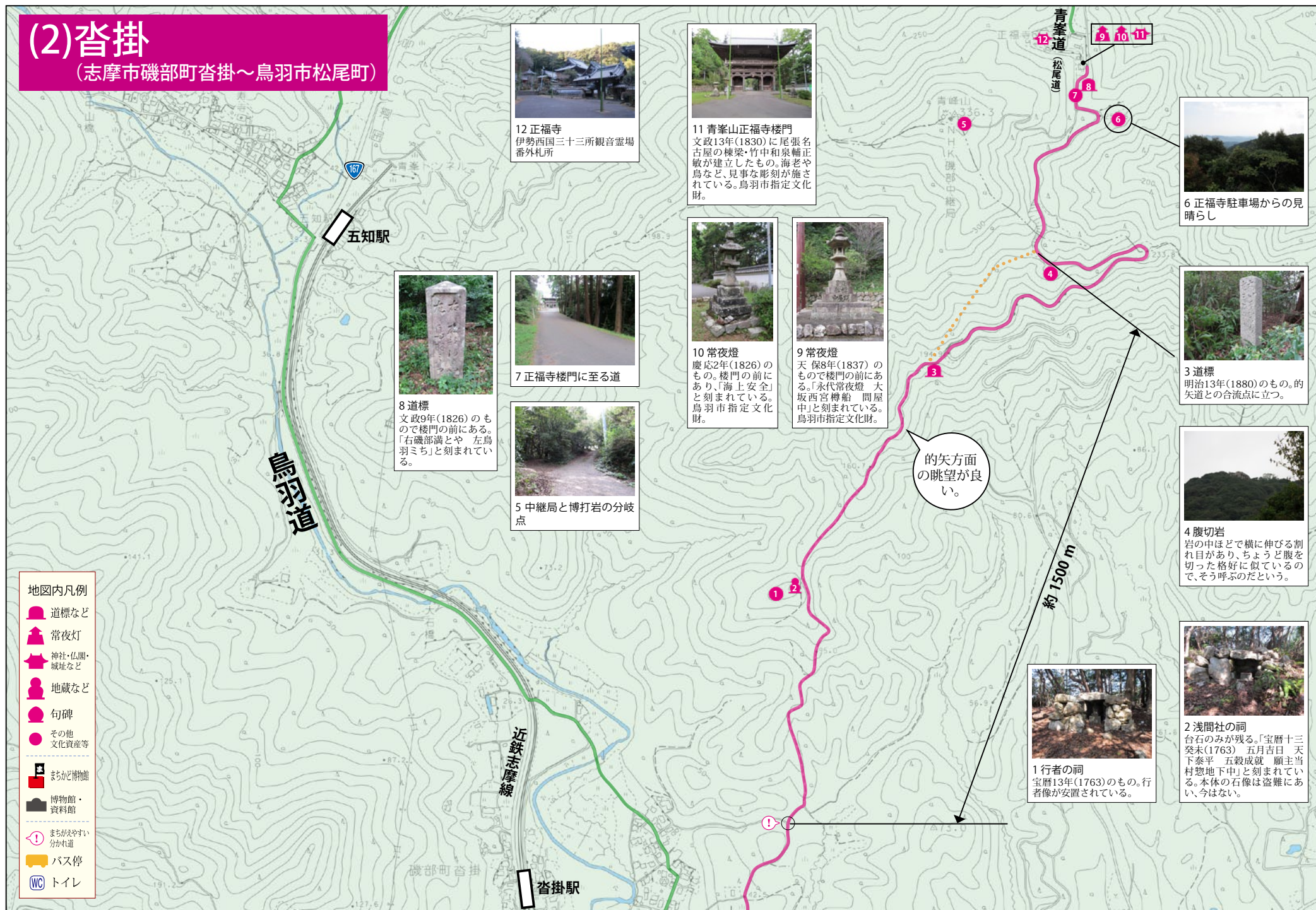


1 伊雑宮
毎年6月24日、御田植祭(日本三大御田植祭のひとつ)が行われる。神宮125社。



(2) 沓掛

(志摩市磯部町沓掛～鳥羽市松尾町)



(1)松尾 1・A (鳥羽市松尾町)



1 道標
文化14年(1817)のもので「左青峯道」「右磯部道」「文化十四年正月吉日」と刻まれている。



2 道標
明治29年(1896)のもので「右青峯道」「日本共立汽船株式会社船中発起人 市口熊口」「左子安地藏及鏡浦村」「明治廿九年十二月建」と刻まれている。



3 石碑(かね石)
天徳寺向かいの公民館前にある。明治23年(1890)右橋の松尾橋が松尾住民多数の寄付により作られたことを示す石碑。



4 岩森
高さ20メートルほどの巨岩。下は公園になっている。



5 庚申堂



6 いずめのこ
もとは池であったといわれる湿地。湿地のおもかげも消えかけている。



7 石橋
切り石2本を利用した低い橋。橋から登り目町石までの街道は、おもかげもなくなっている。

鳥羽道

白木川

近鉄志摩線

白木駅

約150m

約600m

加茂川

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

この部分は
10・11 ページを
ご覧ください

(1)松尾 1・B

(鳥羽市松尾町)



6 ますきち岩
船首のようにみえる岩。地元の人々は七丁目の岩と呼ぶ。木に覆われて見にくい。



5 六丁目の町石
坂の途中にあり、傾いている。

この部分は
8・9 ページを
ご覧ください



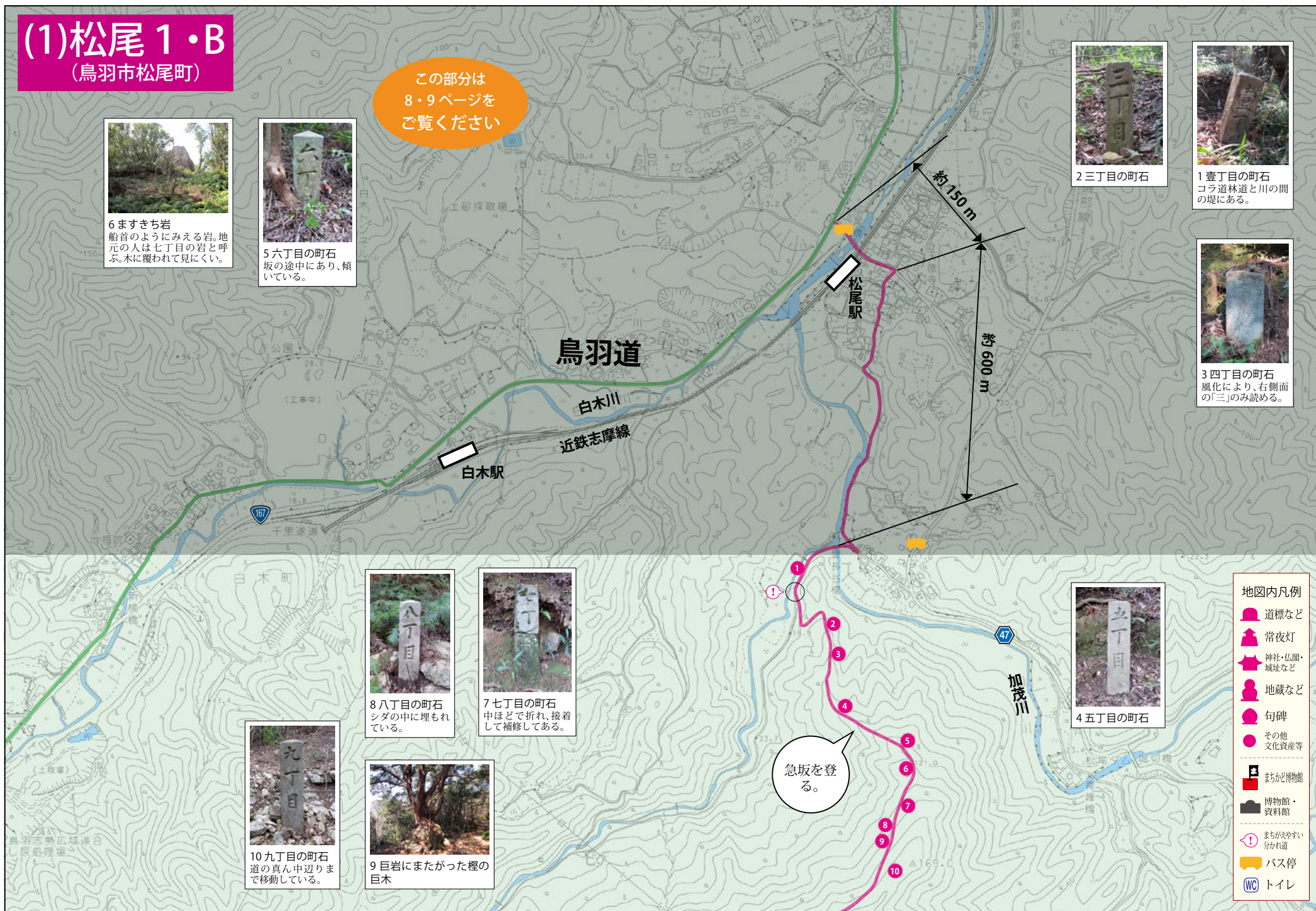
2 三丁目の町石



1 壹丁目の町石
コラ道林道と川の間の堤にある。



3 四丁目の町石
風化により、右側面の「三」のみ読める。



8 八丁目の町石
シダの中に埋もれている。



7 七丁目の町石
中ほどで折れ、接着して補修してある。



10 九丁目の町石
道の真ん中辺りまで移動している。



9 巨岩にまたがった樫の巨木



4 五丁目の町石

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(2)松尾 2・A

(鳥羽市松尾町)



9 拾五丁目の町石



8 無銘の石碑

高さ60センチほどの偏平な
拾五丁目の町石の隣りに
ある。

約1800 m

8 9

この部分は
15 ページを
ご覧ください

青峯道 (磯部道)



2 功空地蔵菩薩

昭和7年(1932)の
もの。岩のところで
命を絶った人を供養
している。



1 あまかぼうか岩

屏風のような高さ5m程の
岩。お参りする女たちが石
を投げ、上にのれば男、落ち
れば女の子が生まれるとい
う古い場所。岩の名前は「あ
ま(女の子)か、ぼう(男の
子)か」という意味らしい。



3 十丁目の町石

上部が折れ、「目」のみ読め
る。



4 松尾方面の見晴らし



5 記念碑

「御大典記念桜樹」
桜の木は見当た
らない。



7 十四丁目の町石



6 拾三丁目の町石

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ

(2)松尾 2・B (鳥羽市松尾町)



4十八丁目の町石



3拾七丁目の町石



2十六丁目の町石
文字部分で折れている。



1ご成婚記念植
林碑

約1800m

勾配がゆる
やかになり、道
幅も広く、登り
やすい。

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化資産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちがえやすい分かれ道
- バス停
- トイレ



9三十二丁目の町石
弘法大師の護摩岩の前。



8弘法大師の護摩岩



7廿一丁目の町石
上部が折れ補修されている。



6貳十丁目の町石



5十九丁目の町石
「吉」字のみ見える。

この部分は
12・13ページを
ご覧ください